

平成26年度  
 社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 事業実施報告書  
 <平成26年4月1日～平成27年3月31日>

**[ 経過報告 ]**

わが国経済は、通貨流通量の緩和政策により2%のインフレ目標と輸出産業の進展に伴い株高と景気の回復基調が報道されています。

本会では平成26年度、組織運営体制の強化のため部課長制を導入し指揮監督権限移譲と機能的な分権的な運営を企図してまいりました。平成26年度末には本所を磯部支所内に移し組織のスリム化と今後の人員削減に向け機能を集中させました。

事務面では、新会計基準への変更に合わせて新会計システムの導入と介護保険システムの入替やパソコンのXP問題に対処し、また労働局からの安全衛生管理指導にも逐次対応しました。

事業面では、生活困窮者自立支援事業を志摩市から新規に受託し事業展開致しました。また、介護保険事業、障がい者支援事業では利用者の確保がままならず大幅な収入減となり収支を圧迫しました。

平成27年度は、介護報酬の改定など厳しいものが予想されています。漫然と流れに身を任せるのではなく、能動的に対応策を講じこの状況を克服する必要があります。そのため、平成26年度の反省から更なる人件費の削減と組織改革による効率化と安定経営をめざします。

**【志摩市の人口等の推移】**

	平成22年4月	平成23年4月	平成24年4月	平成25年4月	平成26年4月
人口	57,871人	57,020人	56,224人	55,526人	54,595人
世帯数	22,676世帯	22,718世帯	22,787世帯	22,968世帯	22,987世帯
65歳以上人口	17,848人	17,731人	17,947人	18,370人	18,748人
高齢化率	30.8%	31.1%	31.9%	33.1%	34.3%

**I. 法人運営事業**

**1. 法人全体の運営**

(1) 社協会費、寄付金の状況

本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。

〈1〉一般会費の状況

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所
納入件数	1,342件	737件	2,706件	3,433件	2,235件
納入金額	693,100円	356,260円	1,376,285円	1,668,606円	1,120,301円
納入件数合計	10,453件〔前年比-153件〕		納入金額合計	5,214,552円〔前年比円〕-120,650円	

〈2〉賛助会費の状況

	本 所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所
納入件数	12 件	26 件	8 件	26 件	45 件	38 件
納入金額	36,000 円	78,000 円	24,000 円	135,000 円	144,000 円	114,000 円
納入件数合計	155 件〔前年比 -33 件〕		納入金額合計		531,000 円〔前年比円〕 -100,850 円	

〈3〉特別会費の状況

	本 所	浜島支所	大王支所	志摩支所
納入件数	14 件	20 件	40 件	20 件
納入金額	105,000 円	140,000 円	215,000 円	175,000 円
	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
納入件数	96 件	48 件	0 件	238 件
納入金額	600,000 円	445,000 円	0 円	1,680,000 円

〔前年比： -5 件／ -70,000 円〕

〈4〉会費の推移

〔単位：円〕

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
一般会費	6,248,911	6,132,694	5,661,558	5,335,202	5,214,552
賛助会費	543,000	545,000	659,000	631,850	531,000
特別会費	1,920,000	1,813,000	1,763,000	1,750,000	1,680,000
合計	8,711,911	8,490,694	8,083,558	7,717,052	7,425,552

〈5〉寄附金の状況

〔単位：円〕

	本 所	浜島支所	大王支所	志摩支所
寄附件数	8 件	7 件	9 件	1 件
寄附金額	581,060 円	280,551 円	410,000 円	20,000 円
	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
寄附件数	19 件	19 件	2 件	65 件
寄附金額	696,297 円	750,888 円	20,000 円	2,758,796 円

〔前年比： -3 件／ -1,752,723 円〕

〈6〉年度別寄附金額

〔単位：円〕

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
寄附金	2,707,153	4,888,869	3,618,158	3,980,459	2,758,796

(2) 役員会等〔理事会・監査会・評議員会〕

定款や諸規程の改正、事業報告及び決算報告などの重要事項について理事会、評議員会に諮り、承認を得ました。

〈1〉理事会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 5月28日	1. 定款の一部変更について 2. 職員給与の臨時特例に関する規程の制定について 3. 平成25年度事業実施報告について 4. 平成25年度一般会計・特別会計収入支出決算について 5. 評議員の選任について	理事 13 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

[第2回] 7月16日	1. 会長及び副会長の選任について 2. 会長職務代理者（第3位理事）の選任について 3. 評議員（補欠）の選任について 4. 安全衛生管理規程の制定について	理事 12名 監事 2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第3回] 10月16日	1. 顧問の委嘱について 2. 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部変更について 3. 育児休業、育児のための深夜業の制限及び育児短時間勤務に関する規程の一部変更について 4. 介護休業、介護のための深夜業の制限及び介護短時間勤務に関する規程の一部変更について	理事 14名 監事 2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第4回] 12月19日	1. 定款の一部変更について 2. 主たる事務所の移転について 3. 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部変更について 4. 経理規程の一部変更について 5. 平成26年度資金収支第1回補正予算について	理事 12名 監事 2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第5回] 3月27日	1. 平成26年度資金収支第2回補正予算について 2. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 3. 職員給与規程の一部変更について 4. 職員給与の臨時特例に関する規程の一部変更について 5. 事務局規程の一部変更について 6. 処務規程の一部変更について 7. 経理規程の一部変更について 8. 平成27年度事業計画について 9. 平成27年度資金収支予算について	理事 14名 監事 2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

## 〈2〉 監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第1回] 5月19日	平成25年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成25年度事業実施報告書 ②平成25年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事 2名	本所 会議室
[第2回] 11月20日	平成26年度中間監査（下記書類を中心に監査） ①平成26年度事業実施中間報告書 ②平成26年度資金収支計算書		

## 〈3〉 評議員会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 5月28日	1. 定款の一部変更について 2. 平成25年度事業実施報告について 3. 平成25年度一般会計・特別会計収入支出決算について	評議員 22名 監事 2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第2回] 6月25日	1. 役員を選任について	評議員 26名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第3回] 12月19日	1. 役員（補欠）の選任について 2. 定款の一部変更について 3. 平成26年度資金収支第1回補正予算について	評議員 22名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

[第4回] 3月27日	1.平成26年資金収支第2回補正予算について 2.平成27年度事業計画について 3.平成27年度資金収支予算について	評議員23名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
----------------	--	--------	----------------------

#### 〈4〉総務部会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 7月16日	1.部会長及び副部会長の選任について	理事5名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第2回] 9月16日	1.役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の改正について	理事6名	磯部健康福祉センターかがやき研修室

#### 〈5〉福祉事業部会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 7月16日	1.部会長及び副部会長の選任について	理事6名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

## 2. 福祉拠点の充実

### (1) 志摩市地域福祉センターの運営

志摩市から指定され地域福祉センターの管理を行うとともに、地域福祉センターにおいて福祉を目的とする住民の交流及び活動の場を提供し、地域における住民の自主的な福祉活動を支援しました。(志摩市及び本会主催の会議等を含む)

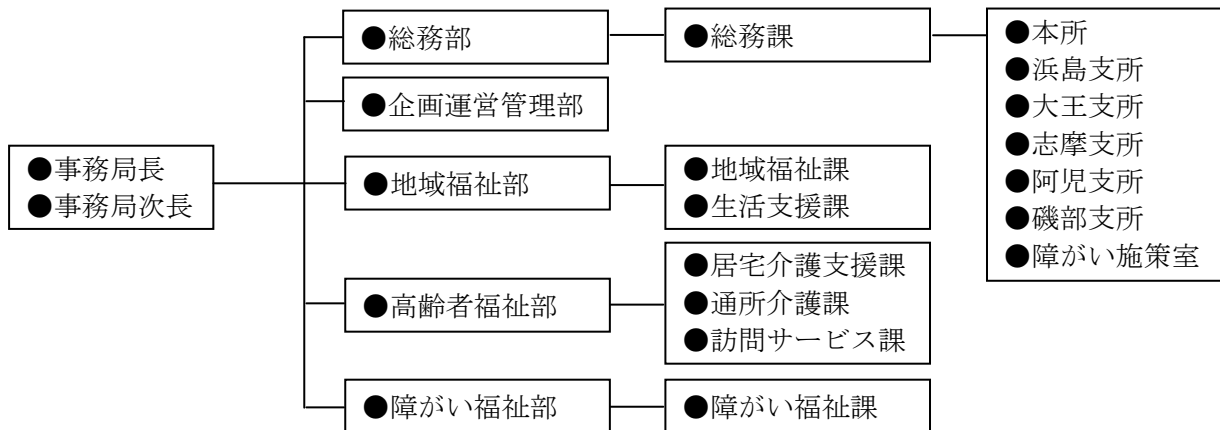
指定管理施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—		
大王地域福祉センター	件数	2件	2件	3件	2件	0件	4件		
	利用者数	24名	17名	33名	23名	0名	41名		
阿児地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—		
磯部地域福祉センター	件数	23件	26件	28件	29件	14件	22件		
	利用者数	218名	353名	397名	322名	127名	216名		
指定管理施設名	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—		—
大王地域福祉センター	件数	4件	4件	2件	4件	4件	7件		38件
	利用者数	78名	46名	35名	31名	28名	58名	414名	
阿児地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	
磯部地域福祉センター	件数	28件	24件	18件	22件	27件	27件	288件	
	利用者数	238名	596名	329名	363名	499名	469名	4,127	

## 3. 財務・人事管理の組織管理マネジメント

### (1) 経営改善

法人の健全な経営や地域福祉の担い手としてふさわしい事業を确实・適正に行うため、これ

までの事業内容を踏まえて運営体制等を見直し、部課長制を導入しました。



### (2) 労働災害の低減に向けた取り組み

各事業場の安全衛生委員会において労働災害の発生状況やその原因を共有し、労働災害の低減に向けた取り組みに努めました。

委員会名	開催回数	主な協議事項
総括安全衛生委員会	9回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全衛生管理組織の検討</li> <li>安全衛生管理規程の検討</li> <li>リスクアセスメントの実施</li> <li>危険箇所マップ、作業手順書の作成</li> <li>腰痛予防対策の検討</li> <li>職場巡視の実施方法の検討</li> <li>変形労働時間制の検討</li> <li>職員のメンタルヘルスについて</li> </ul>
浜島支所安全衛生委員会	9回/年	
大王支所安全衛生委員会	12回/年	
阿児支所安全衛生委員会	6回/年	
磯部支所安全衛生委員会	12回/年	
障がい施策室安全衛生委員会	12回/年	

### (3) 職員研修

職員の資質向上を図るため研修や講習へ参加させ、専門的な知識や技術の維持向上に努めました。(主な研修会を記載)

#### 〈1〉総務課

月	研修名など
5	社会福祉法人役員及び幹部職員研修会
6	雇用主説明会、新会計基準研修会、職場リーダー向けリスクアセスメント研修
7	労務・安全衛生管理研修会、社会福祉協議会法人事務担当者研修会
9	社会保険事務セミナー、公正採用選考研修会
10	三重県社会福祉大会、KTY実践研修会、社会福祉法人新会計基準研修会
12	社会福祉法人の新しい財務諸表の読み方
1	改正パートタイム労働法説明会、退職手当共済実務研修会
3	社会福祉協議会トップセミナー、障がい者雇用納付金制度事務説明会

#### 〈2〉地域福祉課

月	研修名など
4	地域福祉権利擁護事業新任専門員研修会、市町共同募金委員会新任職員勉強会
5	生活福祉資金貸付事業担当職員研修会、初任者接遇マナー研修会
6	認知症講演会
7	地域ケア会議推進研修会、日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会 I
8	成年後見フォーラム
9	地域福祉権利擁護事業専門員事例検討会
11	生活支援員等研修、成年後見制度研修
12	第 2 回専門員事例検討会、多分野の協働で災害を乗り越えるための研修会
1	新任生活支援員フォローアップ研修
3	第 3 回専門員事例検討会、災害ボランティアコーディネーター研修、福祉教育推進セミナー

### 〈3〉生活支援課

月	研修名など
5	職業紹介責任者講習会、新たな生活困窮自立支援制度に関する説明会
6	生活困窮者自立支援制度に関する研修会
7	第 1 回ひきこもり支援者スキルアップ研修会、生活困窮者自立支援事業主任相談員養成研修（前期）
8	第 2 回ひきこもり支援者スキルアップ研修会、生活困窮者自立支援事業主任相談員養成研修（後期）
9	多重債務相談研修会（家計相談支援）、生活困窮者自立支援事業相談支援員養成研修（前期）
10	生活困窮者自立支援事業相談支援員養成研修（後期）、地域福祉実践フォーラム 2014in みえ
11	生活困窮者自立支援事業就労支援員養成研修（前期）、生活困窮者自立支援事業家計相談員実践研修
12	生活困窮者自立支援事業就労支援員養成研修（後期）
1	生活困窮者モデル事業相談従事者研修（事例発表）、ケア会議の技術向上研修（事例提供）
3	生活福祉資金担当職員研修、障がい者地域自立支援協議会就労支援研修、地域福祉部部内研修

### 〈4〉居宅介護支援課

月	研修名など
5	尿検査から考えられる病気について、漢方について基本から学ぼう①、主任介護支援専門員研修、看取りと延命を考える
6	専門研修課程 I、高血圧がもたらす病気、福祉用具セミナー、主任介護支援専門員研修中勢ブロック研修会、肺炎球菌ワクチンの話、夏に向けて～水虫の話
7	漢方について基本から学ぼう②、不整脈について知ろう、第 1 回ケアマネジャー研修会 新型うつ病について、福祉用具セミナー、相談支援従事者初任者研修
8	CVポートへの知識を持とう、糖尿病に関する専門知識を持とう、人生の最後をどうしますか～延命と自然死、福祉用具セミナー
9	志摩市ケアマネ勉強会「認知症と成年後見」、相談支援従事者初任者研修、福祉用具セミナー、CTやMRIへの知識を持とう、現場で活用できる医学知識

10	健診結果の見方とその後の過ごし方、呼吸器系の疾患について学ぼう、介護予防講演会、第2回ケアマネジャー研修、介護支援専門員専門研修課程Ⅱ、志摩市の虐待調査を活かして～ケアマネジメントの質を高めよう～、トリアージについて
11	ケアマネジャーベーシック講座、整形外科に多い高齢者の外傷、志摩市ケアマネ勉強会その2、救急外来で見ることの多い病気いろいろ、消化器系の疾患について学ぼう、成年後見制度に関する研修会、サービス担当者会議においてケアマネジャーに求められるスキルとは、イマドキの介護を考えよう、介護支援専門員専門研修課程Ⅱ、救急車の呼び方
12	地域医療を考える研修会、脳卒中かもしれないと思ったら、介護支援専門員専門研修課程Ⅱ、カサカサかゆくありませんか？冬の皮膚対策、平成26年度介護予防従事者研修会、志摩病院でできる緩和医療
1	第3回ケアマネジャー研修会「ケア会議の技術向上研修」、ご存知ですか？目の病気いろいろ、疾患別の食事について学ぼう、レビー小体型認知症の病態とケア
2	在宅医療・介護他職種連携全体集会、ガン末期(ターミナル)を家で過ごすために、漢方の知識を持とう③～冬季の皮膚対策など、志摩市ケアマネ勉強会その③、寝たきりの原因となる病気について学ぼう、高齢者ニーズとインフォーマルケア、認知症高齢者の取り組みについて・かかりつけ医からみた認知症の早期発見、第14回近畿介護支援専門員研究大会
3	志摩病院における関節リウマチの治療の実際、志摩市養介護施設従事者による虐待防止研修会、志摩病院と居宅介護支援事業所連絡会・施設グループホーム連絡会合同意見交換会

#### 〈5〉訪問介護課

月	研修名など
5	介護サービス事業者集団指導、介護保険制度（地域包括ケアシステムの構築）研修
7	障害福祉サービス事業所等集団指導、訪問入浴実技レベルアップ研修、同行援護従事者養成研修（応用編）
9	移送サービス運転者講習
10	腰痛予防研修「持ち上げない介護技術」
1	新しい総合事業移行に向けた研修
毎月	ヘルパー会議において、実務に関する研修会開催（接遇、認知症ケア等）

#### 〈6〉通所介護課

月	研修名など
5	介護サービス事業者集団指導、介護保険制度（地域包括ケアシステムの構築）研修
6	通所介護における効果的な運動療法と個別機能訓練作成のポイント
7	防災リスクマネジメント研修、夏期食品衛生講習会
9	防災リスクマネジメント研修
10	業種別研修（持ち上げない介護技術）、認知症予防と生活習慣 介護予防講演会（①認知症について②認知症予防と生活習慣③回想法について）
11	実践！ 明日から使えるレクリエーション
1	高齢者の口腔ケア・口腔ケアの方法について知っておきたい歯科知識
3	介護報酬改定とこれからのデイサービスに求められるもの、介護保険制度改正説明会 志摩市介護予防・日常生活支援総合事業説明会、要介護施設従事者向け虐待防止に関する研修会

## 〈7〉障がい福祉課

月	研修名など
4	地域相談支援、就労継続支援B型利用
5	事例検討会、介護保険等サービス事業所等集団指導、障がい者虐待の防止について
6	障がい者虐待の防止について、サービス等利用計画と個別支援計画の連動性、度会特別支援学校見学会、TEACCHに学ぶ
7	食品衛生講習会、事例検討会、三重県相談支援従事者初任者研修、障害福祉サービス事業所等集団指導
8	サービス等利用計画と個別支援計画の連動性、事例検討会
9	事例検討会
10	喀痰吸引研修（特定の者対象）、持ち上げない介護技術、度会特別支援学校公開授業 障害者虐待防止・権利擁護研修
11	障がい者接遇研修、志摩市 成年後見制度研修会、三重県 サービス管理責任者研修会 （児童、就労）
12	これからの障害福祉はどうなるの、医療ケアを必要とする障がい児（者）の福祉と医療 の連携
1	知的障害者福祉専門研修、伊勢志摩圏域相談部会事例検討、志摩市 相談支援業務に関 する技術向上研修
2	発達課題のある人に起こる二次障害とそれへの対応、業務別研修障害Ⅰ行動問題につい ての応用行動分析、これからの障がい者の発達支援について
3	志摩市介護施設従事者による虐待防止研修会

## 4. 社会福祉事業・福祉活動の啓発

### （1）広報及び情報発信

広報誌やホームページを活用して本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。

- 〈1〉志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [ [http:// www. shima- fukushikyoo. or. jp](http://www.shima-fukushikyoo.or.jp) ]  
内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ（支所活動・市民活動）、その他

### 〈2〉広報誌「志摩市社協だより」 の発行

発行回数 / 計6回発行（奇数月の1日発行）

A4版2色刷り（12ページ）/約17,560部発行（1回あたり）

## 5. 事業評価と今後の課題 [法人運営事業]

平成25年度に引き続き厳しい財政状況のなか、安定した健全な事業運営を目指し、経営改善に向けた具体的な取組みを推進してまいりました。支出面においては、職員に理解を求めながら賞与カットなどによる人件費の削減、また、事業費の削減など経費の抑制に取り組ましました。しかし、収入面においては、会費収益、寄付金収益、本会の屋台骨である介護保険事業収益は減収となり当期活動増減差額は平成25年度を上回る赤字決算となりました。支出面における人件費の抑制を継続していくことは課題が大きく、本年度の決算状況を分析しながら新たな財源の開拓に取り組むなど早急に財政基盤の強化を図っていくことが必要であると考えます。

組織管理の取組みとしては、これまでの運営体制及び事業内容を検討し経営改善を図っていくための柱として部課長制を導入しました。部課長制の導入において権限と責任を整理するとともに事業を所管する部署により事業を分析・評価し、健全な事業運営に向けて取り組みました。通所介護課においては、祝日営業の実現を目指した検討が始まるなど、それぞれの部署において新たな提案や検討を行っており、部課長制を導入した効果が少しずつ現われてきていると評価しています。

三重労働局から指定を受けた「安全管理特別指導事業場」においては、労働災害の低減に向けた改善



措置に取組み、安全管理体制の確立、安全衛生教育の推進、リスクアセスメントの実施などに着手しました。結果、休業4日以上労働災害が1件発生したものの、年度内の取組みが評価され、指定は3月31日をもって解除されました。今後も引き続き労働災害の低減に向けた取組みを継続し、労働災害の発生しない事業所を目指します。

## II. 地域福祉活動推進事業

### 1. ボランティアセンター事業

#### (1) ボランティア活動の相談支援

##### (1) 相談支援実績

ボランティア・市民活動の相談窓口となり、ボランティア・市民活動に関する相談援助、コーディネート業務（調整）、情報提供、登録事務、活動費の助成などの業務を全般的に行ないました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	市外	合計
相談・助言	144件	22件	32件	86件	72件	22件	378件
登録団体数	6団体	6団体	10団体	18団体	19団体	0団体	59団体
登録団体会員数	82名	275名	237名	317名	587名	0名	1,498名
個人登録者数	5名	1名	21名	18名	22名	1名	68名
活動費の助成 (1団体/上限10,000円)	60,000円	60,000円	84,800円	140,000円	180,000円	0円	524,800円

##### (2) 地域福祉を推進する団体への事業費の助成〔一般募金配分金を使用〕

地域において生活支援を求めている人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民による先駆的な福祉活動やまちづくり活動の推進を図るために、創意工夫をこらして主体的にすすめる事業に対し、共同募金を財源として事業費を助成しました。

##### 《助成団体》

助成総額 1,824,600円		助成団体数 21団体	
団体名	助成額	団体名	助成額
阿児町心身障害児者育成会	84,000円	みえ防災コーディネーター志摩の会	97,000円
アリス	99,000円	みしま会	89,000円
磯部楽打天晴倶楽部	99,000円	社会福祉法人むげんのかのうせい えがお志摩保育園	88,000円
社会福祉法人四季の里 「Peace Workers」	78,000円	特定非営利活動法人夢ひこーき	88,000円
しま子育て応援団	99,000円	のぞみ会	29,400円
志摩人形クラブ	75,400円	南張地区会	100,000円
志摩夢まちサポーターズ	98,000円	畔名自治会	100,000円
手話サークルあいの会	96,000円	志摩町自治会連合会	100,000円
大王地区夢まちづくり委員会	96,000円	阿児町自治会連合会	100,000円
大王町音訳ボランティア夕風	64,000円	磯部町地区自治会連合会	100,000円
特定非営利活動法人ふれあい工房	44,800円		

#### (2) ボランティア育成、推進事業

##### (1) 地域生活支援モデル構築推進事業

地域において生活支援を求めている人が安心して生活できるよう、様々な住民の参加を得ながら推進される地域福祉活動を支援し、地域の福祉力向上を図ることを目的に、総合的な福祉教育の実施と新たな福祉人材の発掘・育成の機会として「これから！！福祉ヒーロー塾」を開催しました。

	内容	参加者	開催場所
[第1回] 7月26日	福祉講座 1. ワークショップ「気づく力の育て方」 2. 座学「生活のしづらさを理解しよう」 3. グループワーク「社会資源を見つけよう」	21名	阿児アリーナ ミーティング ルーム
[第2回] 8月1日 ～2日	避難所一泊体験「地震から子どもをまもりたい」 1. 防災ミニ講座 2. 非常食の試食 3. 間仕切りダンボールの過ごし場体験	64名	浜島小学校 体育館
[第3回] 10月26日	防災ボランティア養成講座 1. 講義「防災ボランティアの役割」 2. 非常食の試食 3. 避難所運営ゲームHUG	8名	サンライフあ ご多目的ホー ル
[第4回] 2月22日	防災啓発事業「地震から子どもをまもりたい」 1. 避難訓練、水消火器訓練 2. 非常用持出し袋を考える 3. ポリ袋クッキング、新聞紙による器作り	37名	穴川公民館
[第5回] 3月6日	傾聴ボランティアスキルアップ講座 1. 講義「実際の活動上の疑問について考える」 2. ロールプレイ「傾聴スキルを使っの対話訓練」	34名	阿児アリーナ ベイホール

## 〈2〉音声情報提供事業

朗読ボランティアグループ（やまびこ：浜島、夕風：大王、浜風：阿児、さくらんぼ：磯部）の協力を得て、視覚障がい有する方に、志摩市が発行する「広報しま」、「議会だより」及び志摩市社会福祉協議会が発行する「社協だより」などを音訳し配布しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
実利用者数	1名	1名	2名	10名	10名	24名

## 〈3〉地区夢まちづくり委員会

### ①地区夢まちづくり委員会

	大王地区	志摩地区	合計
開催回数	11回	21回	32回
委員数	13名	150名	163名

### ②地区夢まちづくり委員会の活動

地区	期日	内容及び参加者数
大王	4月3日	花見会（ともやま公園） 参加者数：100名
	9月6日	きれいにしよ一な大作戦 参加者数：30名
	12月4日	お楽しみ会（船越公民館） 参加者数：80名
	2月14日	きれいにしよ一な大作戦 参加者数：40名
	3月13日	歩こう会 参加者数：20名

志摩	5月11日	平成26年度第1回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：112名
	7月6日	平成26年度第2回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：107名
	10月19日	平成26年度第3回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：85名
	3月17日	早咲き桜の植樹	参加者数：15名
	年間14回	子育て応援サロン	述べ参加者数：360名

## 2. 福祉教育支援事業

### (1) 学童生徒のボランティア活動普及事業〔一般募金配分金を使用〕

学童・生徒の頃から幼少者・高齢者・障がい者等との交流体験などを通じて、子どもたちがさまざまな人々を自然に受け入れ、福祉への関心を育むことを目的に市内の学校を福祉協力校として指定し、福祉学習を推進する事業費を助成しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
30,000円	2校	1校	4校	6校	3校	16校
40,000円	0校	0校	0校	1校	0校	1校
60,000円	0校	1校	0校	3校	2校	6校
合計	60,000円	90,000円	120,000円	400,000円	210,000円	880,000円

### (2) 福祉学習

子どもたちに福祉への関心を呼び覚まし、その実践を通じて、福祉のまちづくりを支える基盤となる社会連帯の精神を育むことを目的に市内の学校と連携して福祉学習を実施しました。

地区	期日	内容	会場	参加者
浜島	11月27日	視覚障がい者との交流、学習	浜島小学校	浜島小学校 児童25名
大王	7月24日 8月21日 8月28日	夏休み福祉体験教室 「地域見守り体験」	大王町内	町内小中学校 児童生徒10名
	7月31日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	町内小中学校 児童生徒8名
	8月5日 8月6日 8月7日 8月19日 8月25日	夏休み福祉体験教室 「ボランティア体験」	ゆうゆう苑	町内小中学校 児童生徒21名
志摩	6月9日	はまゆうサロン 「志摩町の幼稚園児との交流会」	おりきの松公園多目的 集会施設	園児67名 教諭8名
	7月31日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	町内小学校 児童16名
	7月25日 8月6日 8月19日	夏休み福祉体験教室 「つばさ作業場体験」	つばさ作業場	町内小学校 児童9名
	11月20日	ガイドヘルプ学習	和具小学校	和具小学校 児童38名
	1月16日	車いす介助体験・ガイドヘルプ学習	片田小学校	片田小学校 児童17名
	3月6日	1月16日の振り返り、点字教室	片田小学校	片田小学校 児童11名

阿児	6月16日	車椅子学習	鵜方小学校	鵜方小学校 児童100名、教諭1名 (4年生3クラス)
	7月15日	平成26年度福祉・介護の魅力発信事業(県社協事業)講演	文岡中学校	文岡中学校 生徒159名、教諭10名 (2年生)
	9月12日	ガイドヘルプ学習	鵜方小学校	鵜方小学校 児童100名、教諭1名 (4年生3クラス)
	9月30日	補助犬についての学習	神明小学校	神明小学校 児童235名 (1~6年生)
	10月9日	視覚障がい者との出会い学習	甲賀小学校	甲賀小学校 児童31名、教諭1名 (4年生)
	10月9日	視覚障がい者との出会い学習	鵜方小学校	鵜方小学校 児童100名、教諭3名 (4年生)
	10月30日	視覚障がい者との出会い学習	立神小学校	立神小学校 児童12名、教諭1名 (4年生)
	11月29日	防災学習「避難所体験学習」	安乗中学校	安乗中学校 生徒33名、教諭6名 (1~3年生)
	2月24日 2月27日 3月2日	デイサービス施設見学、交流	サンライフ あご	鵜方小学校 児童100名、教諭6名 (4年生)
	3月3日	高齢者疑似体験	甲賀小学校	甲賀小学校 児童29名、教諭1名 (5年生)
磯部	6月28日	地域見守り事業 うちわ作り	かがやき	磯部中学校 生徒8名、教諭1名 ボランティア7名
	8月7日	デイサービス交流	かがやき	磯部中学校 生徒7名、教諭1名
	2月23日 2月25日 3月13日	デイサービス交流	かがやき	磯部小学校 児童104名、教諭7名
	2月24日	デイサービス交流	かがやき	的矢小学校 児童7名、教諭2名

### (3) 介護・福祉人材の育成

次の世代を担う介護・福祉の人材を育成するため高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れました。

[実人数]

	地域福祉課本部	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
社会福祉士相談援助実習	3名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	3名
介護等体験実習	0名	1名	0名	0名	2名	0名	8名	11名
福祉・介護の職場体験実習	3名	1名	5名	0名	0名	0名	3名	12名
その他	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	6名	2名	5名	0名	2名	0名	11名	26名

- ◆社会福祉士相談援助実習 / 社会福祉士受験資格取得に係る実習(23日間かつ180時間以上)
- ◆介護等体験実習 / 小、中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)
- ◆福祉・介護の職場体験実習 / 福祉・介護職場に関心がある方の実習

### 3. 小地域福祉活動

#### (1) ふくし懇談会

地域における福祉課題、困りごとを把握することや、地域の福祉課題を解決する仕組みづくりを検討するため、自治会関係者、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアなど地域リーダーを交えてふくし懇談会を開催しました。

期日	内容	会場	参加者
8月29日	地域診断調査報告	安乗漁民センター	16名
3月10日	的矢地区ふくし懇談会	的矢区民センター	24名
3月28日	志摩町地域防災講演会	志摩文化会館	34名

#### (2) 小地域支えあいネットワーク

安乗地区の小地域ネットワークについて、運営会議に参加し、情報共有を行いました。

期日	内容	会場
5月30日	第1回ネットワークあおり会議	安乗漁民センター
8月29日	第2回ネットワークあおり会議(ふくし懇談会)	安乗漁民センター
11月24日	第3回ネットワークあおり会議(ふくし懇談会)	安乗漁民センター
3月6日	第4回ネットワークあおり会議(ふくし懇談会)	安乗漁民センター

#### (3) 民生委員児童委員協議会

常に住民の立場に立った相談に応じ、必要な援助を行ない、社会福祉の増進に努める民生委員児童委員協議会の活動を支援しました。

協議会名	委員数	定例会	役員会	専門部会
浜島地区民生委員児童委員協議会	18名	6回	3回	0回
大王地区民生委員児童委員協議会	19名	6回	0回	4回
志摩地区民生委員児童委員協議会	30名	6回	6回	6回
阿児地区民生委員児童委員協議会	48名	6回	6回	0回
磯部地区民生委員児童委員協議会	21名	6回	6回	5回

#### (4) 福祉委員会

地域において福祉に関する課題や要望を把握し、助け合い活動を展開して地域の人たちがともに「福祉でまちづくり」をすすめていく「推進役」である福祉委員会の活動を支援しました。

地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額
浜島	桧山路地区福祉委員会	10名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円
	塩屋地区福祉委員会	13名	サロンの実施、会食会など	65,000円
	迫子地区福祉委員会	14名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円
大王	船越地区福祉委員会	6名	独居高齢者宅訪問、避難訓練など	65,000円
阿児	鵜方地区福祉委員会	13名	見守り活動、地域ボランティアへの参加協力など	65,000円

	神明地区福祉委員会	32名	見守り活動、高齢者ふれあい交流会など	65,000円
	立神地区福祉委員会	16名	見守り活動、アルミ缶・古新聞の回収、サロンへの協力など	65,000円
	志島地区福祉委員会	12名	見守り活動、福祉の森清掃活動など	65,000円
	甲賀地区福祉委員会	9名	見守り活動、サロンの実施など	65,000円

(5) 見守り支援員

地区	内容
磯部	磯部町内の20地区の各自治会に162名の見守り支援員をお願いして、見守りが必要な方に日頃の自治会活動を通じて安否確認などの支援活動を行ないました。

(6) 地域見守り事業〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕

見守りが必要な方に対しての訪問やふれあい弁当の配食などを行ない、地域での助け合い活動や交流・見守り活動を実施しました。

◇ 定期訪問等（ふれあい弁当の配食・安否確認）						
	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
延べ実施回数	20回	24回	18回	20回	20回	102回
延べ利用者数	1,070名	402名	1,492名	728名	1,323名	5,015名
◇ 会食サービス（相互交流・親睦）						
	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
延べ実施回数	2回	0回	1回	0回	2回	5回
延べ参加者数	79名	0名	27名	0名	77名	183名

地区	実施月	内容	延べ利用者数
大王	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。小・中学生も同行し、見守り訪問の体験を行ないました。 実施回数／4回	79名
志摩	7～9月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／6回	532名
阿児	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、福祉委員会や小中学生が、日用品や花、飲み物等を配布し安否確認を行ないました。 実施回数／各地区2～4回	100名
磯部	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品や磯部小学校の児童の手作りカードをボランティアが配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／2回	142名
	4～3月	絵手紙ボランティアや小学生などが、絵手紙の作成に協力し、郵便局と連携して、郵便物を配達する際に安否確認を行ないました。	748名

(7) 地域ふれあいサロン支援事業〔一般募金配分金を使用〕

小地域を基盤とした住民参加による地域ボランティア活動を推進し、ひとり暮らしのお年寄りや家で閉じこもりがちの方が、住みなれた地域で生きがいを持ちながら社会参加が図れるよう、地域の生活課題を共に考え、共に支え合う「地域ふれあいサロン」の活動を支援し、共同募金を財源としてサロンの運営に必要な活動経費の一部を助成しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
実施箇所数	5箇所	2箇所	10箇所	10箇所	18箇所	45箇所
延べ実施回数	84回	36回	222回	92回	165回	599回
延べ利用者数	1,741名	338名	1,985名	2,276名	3,681名	10,021名
助成件数	5件	2件	10件	10件	18件	45件
助成額	145,000円	58,000円	228,000円	289,600円	491,000円	1,211,600円

(8) 災害時要援護者支援台帳、支援マップ

平常時より要援護者の把握に努め、災害時の避難支援や平常時における見守り活動の支援、小地域での支えあいネットワークの体制整備などに役立てていくことを目的とした要援護者台帳を、志摩市ふくし総合支援室と地域福祉課と連携して整備しています。

期日	内容	会場	参加者
10月28日	災害時要援護者名簿作成説明会	浜島生涯学習センター	15名
10月29日	災害時要援護者名簿作成説明会	養心館	10名
10月30日	災害時要援護者名簿作成説明会	ちちろ	18名

(9) 防災意識啓発事業

志摩市や関係機関と連携して防災意識の向上等を目的とした事業に取り組みました。

〈1〉地震から子どもをまもりたい！！

自然災害発生時に地域住民が協力して災害救助・救護活動、被災者生活支援活動を効果的に行うため、子どもや保護者を対象に防災対策の基本的な知識と技術を身に付けることを目的とした学習会を開催しました。

※地域生活支援モデル構築推進事業「これから！！福祉ヒーロー塾」において実施しました。

(10) 志摩市地域福祉フェスタ

助け合い、つながりあい、安心して暮らせる志摩市の実現を目指して平成23年度に策定した第2次志摩市地域福祉（活動）計画に掲げた地域福祉活動を推進するための啓発イベントを開催しました。

期 日：平成26年11月30日（日）

会 場：志摩市志摩文化会館

テーマ：助け合い、つながりあい、安心して暮らせる志摩市の実現  
～地域でふれあい、つながり防災～

参加者：約1,000人

(11) 介護予防事業

〈1〉家族介護教室 [志摩市より受託]

介護者等が介護に関する知識や技術を学び、交流する機会を提供して、身体的・精神的な負担の軽減を図り、在宅介護を支援することを目的に開催しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
延べ実施回数	5回	5回	5回	5回	5回	25回
延べ参加者数	56名	51名	36名	53名	94名	290名

主な内容・・・基本的な介護技術・口腔ケアの学習会（8～9月）、施設見学（9月）  
フラワーセラピー「癒しの苔玉づくり」（11月）、介護食の調理実習（12月）  
心と体のストレッチ「大人のラジオ体操」（3月）

〈2〉介護予防拠点施設（菜の花館）の運営[志摩市より受託]

①生きがい活動支援通所事業

閉じこもりがちな特定高齢者等を対象に通所による生活指導や趣味活動の機会を提供しました。

②一般高齢者通所事業

一般高齢者が要介護状態とならないよう予防のための入浴、レクリエーションの機会を提供しました。

	①生きがい活動支援通所（月・水・金）	②一般高齢者通所（火・木）
延べ利用者数	837名〔前年比 -5名〕	715名〔前年比 +297名〕

〈3〉地域サロン推進事業[志摩市より受託]

介護予防事業一次予防事業対象者（主として活動的な状態にある高齢者）の介護予防を推進し、地域における包括的・継続的なマネジメント機能の強化を図ることを目的に、住民主体による地域サロンの立ち上げを支援しました。

支援地区	阿児町国府地区、磯部町恵利原地区
------	------------------

（12）放課後児童クラブ事業

志摩市が開設している「浜島放課後児童クラブ」「磯部放課後児童クラブ」を受託運営し、児童の健全育成に協力いたしました。

〈月別延べ利用者数〉

	浜島放課後児童クラブ	磯部放課後児童クラブ	合計
平成26年4月	290名	606名	896名
5月	293名	566名	859名
6月	300名	604名	904名
7月	369名	680名	1,049名
8月	347名	598名	945名
9月	281名	548名	829名
10月	295名	556名	851名
11月	246名	419名	665名
12月	272名	486名	758名
平成27年1月	264名	487名	751名
2月	258名	436名	694名
3月	290名	566名	856名
合計	3,505名	6,552名	10,057名
〔前年比〕	+1,226名	-889名	+337名

【年度別延べ利用者数推移】

〔単位：名〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
浜島児童クラブ	1,791	1,669	1,903	2,279	3,505
磯部児童クラブ	5,115	6,201	7,230	7,441	6,552
合計	6,906	7,870	9,133	9,720	10,057

4. 福祉サービス利用援助事業

（1）在宅介護支援事業



主に高齢者の福祉相談窓口として、サービスに対する相談、利用の代行申請、情報提供、ニーズ調査（分析）、サービス調整などの業務を全般的に行ないました。

		浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	市外	合計
相談・助言		79件	120件	102件	58件	92件	18件	469件
内 訳	介護	12件	0件	0件	1件	0件	1件	14件
	生活・家族	26件	86件	38件	32件	36件	7件	225件
	福祉サービス	26件	19件	30件	10件	48件	3件	136件
	医療	0件	0件	1件	3件	0件	0件	4件
	経済的問題	6件	10件	28件	10件	8件	7件	69件
	権利擁護	9件	5件	5件	2件	0件	0件	21件
実態把握調査		6件	11件	34件	15件	26件		92件
介護者の会支援		7回	1回	3回	12回	11回		34回
介護予防教室等		0回	0回	0回	8回	10回		18回
福祉機器貸与		9件	29件	18件	48件	19件		123件

## (2) 社協障がい者相談支援センターあおぞら（指定相談支援事業）

障がいのある方やご家族からの福祉サービス等の利用相談に応じ、市やサービス提供事業者、委託相談支援事業所との連絡調整（市町への支給決定等の申請に係るサービス等利用計画の作成・サービス担当者会議の実施）を行いました。

また、継続して障がい福祉サービス等を適切に利用することができるよう、利用計画の見直し（モニタリング）を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規	0件	0件	1件	1件	2件	0件	
更新・変更	7件	9件	0件	7件	6件	4件	
モニタリング	1件	5件	10件	3件	3件	11件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1件	0件	0件	0件	0件	1件	6件
更新・変更	1件	2件	8件	9件	3件	11件	67件
モニタリング	4件	10件	2件	4件	5件	9件	67件

## (3) 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）[三重県社会福祉協議会より受託]

福祉サービスの契約に伴い、判断能力が不十分なために不利益を被ることのないよう法律行為（利用援助）や付随する金銭・書類預かり等のサービスを実施しました。

志摩市及び南伊勢町を担当する基幹的社会福祉協議会として、専門員2名を設置、事業を推進していますが、専門員1人当たりの基準利用者数（35名）をこえる利用があり、ニーズの高さに比例し、職員の負担が増大しています。

平成26年度の解約者数のうち5件は成年後見制度に繋いでいます。そのうち2件は法人後見への移行、1件は本事業と再契約となっています。

### 〈1〉活動報告

	名称 / 志摩地域権利擁護センター						合計
	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	南伊勢町	
相談・助言	2件	11件	7件	19件	7件	2件	48件
利用契約数	1件	4件	2件	4件	1件	1件	13件
解約数	1件	6件	2件	7件	2件	2件	20件
利用者数	11名	16名	10名	29名	14名	9名	89名

区分	認知症	3名	3名	8名	11名	8名	3名	36名
	知的障がい	5名	4名	0名	9名	3名	4名	25名
	精神障がい	2名	8名	2名	7名	3名	2名	24名
	その他	1名	1名	0名	2名	0名	0名	4名
生活支援員数		7名	6名	5名	14名	4名	6名	42名
生活支援訪問回数		425回	265回	189回	469回	65回	196回	1,609回
専門員対応生活支援訪問回数		23回	81回	5回	78回	183回	4回	374回
その他		113回	622回	235回	869回	422回	83回	2,344回
◆相談・助言 / 問い合わせ件数・初回相談件数								
◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数								

## 〈2〉生活支援員研修会の開催

生活支援員の援助技術の向上を目的として研修会を開催しました。

期日	内容	会場	参加者
2月20日	障がいのある方への接し方のポイント	磯部健康福祉センター	24名
2月27日	地域福祉権利擁護事業、信頼関係を築くコミュニケーション	磯部健康福祉センター	18名

## (4) 成年後見制度（法人後見）

認知症、知的障がい、精神障がい等の精神上の障がいにより判断能力が不十分なために不利益を被ることのないよう、本会が成年後見人等（成年後見人、保佐人、補助人）となり、本人の利益を考えながら、身上監護（住居、介護、施設入所、医療等）や財産管理（預金、不動産等）等の法律行為を本人に代わり契約を締結するなどして支援しています。

	後見	保佐	補助	任意後見
年度当初既受任者数	10名	4名	0名	0名
年度内新規受任者数	2名	0名	0名	0名
年度内後見終了者数	0名	0名	0名	0名
年度末利用者数合計	12名	4名	0名	0名

## (5) 地域生活定着支援

三重県地域生活定着支援センターと連携し、高齢や障がいのために、支援を必要とする受刑者の出所後、地域生活が可能となるよう住居の確保や福祉サービスの利用援助などを行うもので、平成25年度に1名の支援を終了し、現在対象者はいません。

## (6) 生活困窮者自立促進支援モデル事業

平成27年4月からの生活困窮者自立支援法の施行に伴い、平成26年6月から平成27年3月までの間、生活困窮者自立支援モデル事業を受託実施しました。

### 〈1〉事業の啓発及び資源の開拓、ネットワーク構築に向けた取り組み

民生委員児童委員や管内の警察署、各種学校、相談支援機関等へ生活困窮者支援の新たな法律やその目指すところを周知啓発に回りました。

### 〈2〉自立相談支援モデル事業

個別の相談支援活動から相談支援のプロセスや、支援調整会議及び庁内体制会議の在り方を検討しました。またモデル事業期間中は生活保護受給者も対象とし、特に就労支援分野におい

ては職業斡旋が出来るよう無料職業紹介事業所の認可申請に取り組み、ハローワークとの働く動機づけを目的に、相談者向けセミナーを開催しました。

### 〈3〉就労準備支援モデル事業

社会福祉協議会にあるボランティアな活動や一部有償の作業、雇用機会などを準備支援のプロセス（日常生活自立⇔社会参加⇔就労訓練）に沿って資源整理調整を行いました。

### 〈4〉家計相談支援モデル事業

生活福祉資金貸付事業と連動した相談支援体制を作っていくため、三重県社会福祉協議会が主催する担当者レベルの研修に参加しました。また法人内においても課内会議を開催し準備しました。

〈相談件数〉

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
相談・助言 (男 26/女 13)	3件	7件	5件	22件	2件	39件

	高齢	母子	傷病・障がい	その他	合計
世帯区分別	10件	0件	14件	15件	39件

※その他世帯は、高齢、母子、傷病障がい以外の世帯

### (7) 生活福祉資金貸付事業 [三重県社会福祉協議会より受託]

生活福祉資金は、所得の低い世帯、障がい者の属する世帯及び高齢者の属する世帯を対象として安定した生活をするために必要な資金を貸し付ける制度であり、相談援助を行ないました。

〈相談件数〉

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
相談・助言	3件	3件	12件	16件	3件	37件

〈貸付件数〉

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
年度当初既貸付件数	8件	12件	27件	69件	17件	133件
年度内新規貸付件数	0件	1件	1件	8件	0件	10件
年度内償還完了等件数	0件	2件	3件	7件	2件	14件
年度末貸付件数	8件	11件	25件	70件	15件	129件

### (8) 専門相談会

住民の多種多様な相談にお応えするため、弁護士、司法書士による専門相談会を実施しました。

相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談 (司法書士)
開催回数	20回	12回
相談件数	70件	48件

## 5. 赤い羽根共同募金運動の協力

## (1) 運営委員会 計4回

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 5月26日	1. 平成25年度事業実施報告について 2. 平成25年度一般会計決算の承認について 3. 平成25年度(26年度充当)共同募金配分計画変更について 4. 平成26年度(27年度充当)共同募金配分計画について	運営委員12名 監事2名	阿児アリーナ ミーティング ルーム
[第2回] 8月27日	1. 運営委員(補欠)の選任について 2. 平成26年度共同募金目標額について	運営委員12名 監事2名	阿児アリーナ ミーティング ルーム
[第3回] 9月12日	1. 運営委員(補欠)の選任について	回答者12名	(書面運営委員 会)
[第4回] 3月2日	1. 社会福祉法人三重県共同募金会志摩市共同募金 委員会会則の一部変更について 2. 平成26年度一般会計補正予算について 3. 平成27年度事業計画について 4. 平成27年度一般会計予算について	運営委員12名 監事2名	阿児アリーナ ミーティング ルーム

## (2) 監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第1回] 5月2日	平成25年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①平成25年度事業実施報告書 ②平成25年度財産目録、貸借対照表、事業活動収 支計算書、資金収支計算書	監事2名	サンライフあ ご相談室

## (3) 一般募金

期間：10月1日～12月31日

[単位：円]

募金種別	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	0	695,600	802,428	1,278,351	1,624,053	1,028,762	5,429,194
法人募金	0	0	0	0	2,500	0	2,500
街頭募金	0	7,274	11,490	20,997	76,852	16,219	132,832
職域募金	0	6,476	2,544	2,106	13,173	4,704	29,003
イベント募金	0	0	0	4,805	8,190	0	12,995
個人募金	0	0	0	8,200	2,000	0	10,200
その他	29	0	0	8,764	16,441	1,773	27,007
合計	29	709,350	816,462	1,323,223	1,743,209	1,051,458	5,643,731

[前年比：-139,078円]

## 【一般募金の推移】

[単位：円]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般募金	6,325,839	6,377,111	6,289,495	5,782,809	5,643,731

## (4) 歳末たすけあい募金 期間：12月1日～12月31日

[単位：円]

募金種別	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	0	696,100	347,455	1,224,275	1,603,704	993,615	4,865,149
法人募金	0	96,669	64,000	93,500	119,931	252,000	626,100

街頭募金	0	0	0	0	39,692	0	39,692
職域募金	0	0	3,664	0	18,102	7,543	29,309
学校募金	0	0	0	775	0	0	775
イベント募金	0	0	0	0	9,700	0	9,700
個人募金	0	0	0	0	0	0	0
その他	55	15	4,772	41	6,973	3,294	15,150
合計	55	792,784	419,891	1,318,591	1,798,102	1,256,452	5,585,875

[前年比：-186,058]

【歳末たすけあい募金の推移】

[単位：円]

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
歳末募金	5,348,811	6,114,208	5,471,617	5,771,933	5,585,875

## 6. 当事者団体の活動支援、協力

(1) 志摩市老人クラブ連合会・志摩市身体障害者福祉連合会等

志摩市老人クラブ連合会及び志摩市身体障害者福祉連合会等の各種福祉団体の自主運営を支援しました。

期日	事業名	会場
10月2日	志摩市身体障がい者福祉体育大会	阿児アリーナ
11月12日	志摩市老人クラブ連合会スポーツ交流大会	磯部ふれあい公園
12月11日	志摩市身体障がい者忘年芸能大会	阿児アリーナ
2月12日	志摩市老人クラブ連合会福祉大会	阿児アリーナ

## 7. 事業評価と今後の課題 [地域福祉活動推進事業]

地域や福祉団体等との信頼関係を大切にしながら、計画したことを着実かつ丁寧に進めております。ただ、社協の中核事業ということから確保できる財源以上に求められる役割が大きく、事業費の増大が本会運営を圧迫しております。

現状のまま事業や機能を維持させることは困難であり、財源規模に合わせた組織改編や事業・機能の効果的縮小などについて地域の皆様方と合意形成を図り、早急な対策（工夫）が求められています。

## Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

### 1. 介護保険サービス関係事業

(1) 居宅介護支援事業

事業内容	介護保険で要介護認定されたご本人及びご家族の依頼により利用者の心身の状態及び家庭の状況に応じて、利用者の希望に基づき、適切な介護サービスが総合的に受けられるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。また要支援認定された方に対して、志摩市などからの委託により介護予防プランの作成も行います。
------	--

介護保険収入	144,380,790円	延べ作成件数	9,922件
--------	--------------	--------	--------

【平成26年度月別ケアプラン作成件数】

	大王事業所		きらり事業所		磯部事業所		合計
	介護	予防※	介護	予防※	介護	予防※	
平成26年4月	369件	7件	0件	0件	433件	24件	833件
5月	365件	8件	2件	0件	448件	24件	847件
6月	355件	8件	2件	0件	461件	24件	850件
7月	359件	8件	2件	0件	449件	23件	841件
8月	366件	8件	1件	0件	444件	24件	843件
9月	363件	8件	1件	0件	436件	24件	832件
10月	369件	8件	1件	0件	432件	21件	831件
11月	362件	8件	1件	0件	435件	22件	828件
12月	364件	8件	2件	0件	439件	20件	833件
平成27年1月	347件	8件	2件	0件	427件	19件	803件
2月	340件	8件	3件	0件	417件	18件	786件
3月	349件	9件	3件	0件	418件	16件	795件
事業所別合計	4,308件	96件	20件	0件	5,239件	259件	9,922件
〔前年比〕	-26件	-89件	-76件	±0件	-116件	+31件	-276件

※予防に係るケアプラン策定事業については、志摩市以外に明和町、伊勢市東地区包括支援センターより受託。

【年度別推移】

〔単位：収入／円，作成数／件〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険収入	154,255,640	149,055,240	147,909,040	148,688,120	144,380,790
延べ作成件数	10,304	9,964	10,117	10,198	9,922

(2) 訪問介護事業 《阿児事業所》

事業内容	訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行います。		
介護保険収入	97,267,434円	延べ利用者数	33,942名

【平成26年度月別延べ利用者数及び延べサービス提供時間数】

〔時間：分〕

	延べ利用者数	延べサービス提供時間数
平成26年4月	2,922名	2,826：09
5月	2,963名	2,873：37
6月	2,849名	2,756：18
7月	3,097名	2,982：52
8月	2,869名	2,753：38
9月	2,854名	2,729：17
10月	2,898名	2,789：00
11月	2,801名	2,719：45
12月	2,761名	2,665：15
平成27年1月	2,667名	2,559：45
2月	2,508名	2,434：45
3月	2,753名	2,616：45

事業所別合計	33,942名	32,707:06
[前年比]	-5,557名	-3,578:24

【年度別推移】 [単位：収入/円，利用者数/名]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険収入	139,570,302	128,826,367	122,736,864	109,291,307	97,267,434
延べ利用者数	47,999	44,093	42,153	39,499	33,942

(3) 訪問入浴介護事業 《阿児事業所》

事業内容	自宅の浴槽では入浴が困難な方に対して、看護師及び介護職員等が入浴車で訪問し、お部屋で入浴介助を行ないます。		
介護保険収入	21,316,190円	延べ利用者数	1,660名

【平成26年度月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	141名	143名	150名	165名	150名	138名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	150名	129名	126名	118名	116名	134名
延べ利用者数合計			1,660名 [前年比 -75名]			

【年度別推移】 [単位：収入/円，利用者数/名]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険収入	29,839,580	24,517,300	27,258,970	22,083,320	21,316,190
延べ利用者数	2,385	1,948	2,134	1,735	1,660

(4) 通所介護事業

事業内容	デイサービスセンターまで通所していただき、食事や入浴の介護サービスや健康体操、レクリエーションなどを日帰りで行ないます。		
介護保険収入	283,839,718円	延べ利用者数	32,345名

【平成26年度月別延べ利用者数】 (予防・基準該当生活介護含む)

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	きらり事業所	合計
事業所利用定員	35名	40名	35名	40名	10名	
平成26年4月	622名	733名	697名	732名	76名	2,860名
5月	598名	728名	655名	733名	66名	2,780名
6月	621名	723名	715名	757名	68名	2,884名
7月	676名	758名	764名	803名	73名	3,074名
8月	637名	690名	708名	700名	59名	2,794名
9月	621名	689名	686名	688名	66名	2,750名
10月	647名	720名	728名	710名	86名	2,891名
11月	601名	658名	641名	578名	64名	2,542名
12月	589名	597名	626名	630名	67名	2,509名
平成27年1月	552名	545名	531名	585名	58名	2,271名
2月	589名	535名	558名	616名	62名	2,360名
3月	626名	619名	594名	726名	65名	2,630名
事業所別合計	7,379名	7,995名	7,903名	8,258名	810名	32,345名
[前年比]	-907名	-1,225名	-487名	-462名	-130名	-3,189名

サービス提供日数	293日	293日	293日	293日	244日	
1日平均	25.2名	27.3名	27.0名	28.2名	3.3名	

【年度別推移】 [単位：収入/円，利用者数/人]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険収入	312,299,393	296,895,290	310,271,706	312,426,429	283,839,718
延べ利用者数	34,534	33,252	35,507	35,534	32,345

※志摩通所介護事業所は平成24年度末で廃止。上表の年度別推移表には、志摩通所介護事業の実績（収入、利用者数）を除いております。

(5) 福祉用具貸与事業 《阿児事業所》

事業内容	個人では購入しづらい福祉機器を貸し出したり、販売することによって、在宅の環境を整え、在宅での生活と介護を支援します。		
介護保険収入	2,702,210円	延べ利用者数	210名

【平成26年度月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸与利用者数	21名	21名	18名	19名	18名	17名
販売利用者数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸与利用者数	18名	16名	15名	16名	15名	15名
販売利用者数	0名	0名	0名	1名	0名	0名
利用者数合計	貸与利用者 209名〔前年比-70名〕			販売利用者 1名〔前年比-5名〕		

【年度別推移】 [単位：収入/円，利用者数/人]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護保険収入	3,245,560	2,531,830	3,012,140	3,425,730	2,702,210
延べ利用者数	224	212	251	279	209

(6) 訪問看護事業 《磯部事業所》

事業内容	看護師等がご自宅まで訪問して、主治医の指示により、療養のお世話や必要な診療の補助を行ないます。また一部病状によっては医療保険の対象になります。		
介護保険収入	15,465,050円	延べ利用者数（介護）	2,493名
医療保険収入	3,870,890円	延べ利用者数（医療）	437名

【平成26年度月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護保険	229名	243名	225名	229名	228名	231名
医療保険	42名	37名	36名	44名	33名	38名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	222名	191名	169名	169名	170名	187名
医療保険	38名	37名	32名	32名	33名	35名
延べ利用者数合計	介護保険 2,493名〔前年比-411名〕			医療保険 437名〔前年比+29名〕		



【年度別推移】 [単位：収入／円，利用者数／人]

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
介護保険収入	19,289,480	22,010,280	20,360,450	18,298,620	15,465,050
医療保険収入	826,740	1,075,595	2,803,540	3,565,900	3,870,890
延べ利用者数(介)	2,845	3,679	3,187	2,904	2,493
延べ利用者数(医)	92	122	311	408	437

## 2. 障がい福祉サービス関係事業

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業（ヘルパーセンターあんず〈阿児事業所〉）

事業内容	訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴、排泄、食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行なっています。		
自立支援費等収入	30,940,541円	延べ利用者数	7,400名

【平成 26 年度月別延べ利用者数】

[時間：分]

	居宅介護		重度訪問介護		同行援護		移動支援(市委託事業)	
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数
平成 26 年 4 月	352 名	420:45	191 名	116:30	73 名	191:00	44 名	66:00
5 月	368 名	421:45	148 名	99:00	92 名	228:00	42 名	72:00
6 月	360 名	419:15	136 名	105:00	75 名	162:00	37 名	71:30
7 月	386 名	466:30	147 名	115:00	67 名	162:30	36 名	61:30
8 月	336 名	416:30	122 名	94:00	65 名	133:00	36 名	68:30
9 月	362 名	433:45	131 名	101:30	86 名	169:00	33 名	73:00
10 月	367 名	416:30	141 名	110:30	70 名	133:30	27 名	69:30
11 月	359 名	410:00	134 名	105:00	65 名	159:00	38 名	80:30
12 月	361 名	412:45	135 名	100:30	73 名	161:00	25 名	60:15
平成 27 年 1 月	361 名	407:30	167 名	104:00	63 名	147:30	33 名	72:00
2 月	334 名	387:45	150 名	94:00	54 名	137:30	32 名	77:30
3 月	366 名	436:15	190 名	116:30	99 名	215:30	31 名	67:00
合計	4,312 名	5,049:15	1,792 名	1,261:30	882 名	1,999:30	414 名	839:15

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ利用者数	660 名	650 名	608 名	636 名	559 名	612 名	
延べ提供時間	794:15	820:45	757:45	805:30	712:00	777:15	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
延べ利用者数	605 名	596 名	594 名	624 名	570 名	686 名	
延べ提供時間	730:00	754:30	734:30	731:00	696:45	835:15	
延べ利用者数合計	7,400 名 [前年比+383 名]			延べ提供時間数合計			9,149:30 [前年比 -634:50 分]

【年度別推移】 [単位：収入／円，利用者数／人]

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
自立支援費等収入	26,089,474	28,617,840	33,982,720	31,994,920	30,940,541
延べ利用者数	(8,052)	(9,285)	7,678	7,017	7,400

## (2) 障がい者生活介護センター事業

事業内容	施設まで通所していただき、常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を行なうとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供しています。		
自立支援費等収入	80,104,690円	延べ利用者数	8,313名

## 【平成26年度月別延べ利用者数】

	生活介護センター きらり 【阿児】	生活介護ステーション さくら苑 【浜島】	合計
平成26年4月	537名	184名	721名
5月	529名	159名	688名
6月	562名	183名	745名
7月	590名	183名	773名
8月	544名	179名	723名
9月	531名	173名	704名
10月	509名	180名	689名
11月	465名	156名	621名
12月	490名	161名	651名
平成27年1月	480名	148名	628名
2月	466名	166名	632名
3月	547名	191名	738名
合計	6,250名	2,063名	8,313名
〔前年比〕	+517名	+269名	+786名

## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
自立支援費等収入	54,502,804	63,299,660	70,162,032	70,343,309	80,104,690
延べ利用者数	6,183	7,044	7,469	7,527	8,313

## (3) 日中一時支援事業

事業内容	障がいのある人の日中の活動の場を確保し、その家族の就労を支援して、一時的な休息の場を提供しています。		
	472,746円	延べ利用者数	205名

## 【平成26年度月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	19名	14名	14名	22名	13名	19名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	23名	15名	11名	15名	20名	20名
延べ利用者数合計	205名〔前年比 -27〕					

## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業等収入	1,785,882	1,777,612	1,168,149	544,645	472,746
延べ利用者数	562	566	468	232	205

## (4) 障がい児童デイサービスセンター事業

事業内容	障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行なっています		
自立支援費等収入	35,637,539円	延べ利用者数	3,850名

## 【平成26年度月別延べ利用者数】

	浜島・くれよん	大王・ゆうゆう	合計
平成26年4月	194名	112名	306名
5月	212名	75名	287名
6月	220名	70名	290名
7月	241名	131名	372名
8月	210名	208名	418名
9月	217名	89名	306名
10月	265名	59名	324名
11月	225名	51名	276名
12月	238名	78名	316名
平成27年1月	229名	69名	298名
2月	235名	52名	287名
3月	273名	97名	370名
合計	2,759名	1,091名	3,850名
〔前年比〕	+64名	-245名	-181名

## 【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
自立支援費等収入	33,697,020	34,946,702	37,725,002	36,443,897	35,637,539
延べ利用者数	3,556	3,700	4,297	4,031	3,850

## (5) 就労支援事業

## 〈1〉事業実施状況

事業内容	一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行ないます。		
就労支援事業収入	38,610,819円	延べ利用者数	17,588名
自立支援費等収入	150,457,329円		

## 【平成26年度月別延べ利用者数】

障がい者支援施設名	障がい者支援施設 はばたき	障がい者支援施設 あいのその	障がい者支援施設 えりはら	合計
事業所の定員	20名	20名	40名	
平成26年4月	433名	358名	732名	1,523名
5月	405名	355名	730名	1,490名
6月	461名	358名	777名	1,596名
7月	468名	375名	790名	1,633名
8月	438名	340名	656名	1,434名
9月	444名	378名	716名	1,538名

10月	464名	376名	775名	1,615名
11月	373名	312名	635名	1,320名
12月	407名	316名	673名	1,396名
平成27年1月	346名	291名	637名	1,274名
2月	360名	304名	645名	1,309名
3月	399名	350名	711名	1,460名
合計	4,998名	4,113名	8,477名	17,588名
〔前年比〕	-546名	+6名	+89名	-451名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
就労支援事業収入	43,118,980	40,434,548	39,037,537	36,497,402	38,610,819
自立支援費等収入	120,316,040	128,025,080	142,297,880	149,491,030	150,457,329
延べ利用者数	15,423	16,519	16,912	18,039	17,588

〈2〉就労支援事業内容

中心施設	付属作業場	作業内容等	備考
障がい者 支援施設 はばたき  利用者 34名	福祉農園	農園芸作業・食品加工・販売活動 水産関係委託作業 ※本体施設内	花卉園芸作業 野菜づくり等
	菓子工房 エスパス	クッキー・ケーキ作り、販売 ※本体施設内	菓子製造作業
	喫茶 ひまわり	喫茶店・飲食店経営 ※カライフあご	喫茶業務 ケーキ等販売
	味処 はばたき	飲食店・レストラン経営 ※市役所本庁舎	飲食 弁当仕出し ケーキ等販売
	福祉市場 レインボー	地場産品直売所運営、受託販売 店舗内鮮魚販売 ※市役所横直売店舗	農産品 水産加工品
	その他	受託建物清掃・公園清掃作業 ひきこもり社会参加促進事業 工賃倍増新商品の開発事業等	カライフ清掃 県道公園清掃 スペイン村ほか
障がい者 支援施設 あいのその  利用者 24名	本体施設	真珠商品・ビーズ商品作成販売 EM関連商品作り・販売 リサイクル作業（資源回収選別） 清掃作業、鮮魚移動販売 水産関係委託作業	自主製品販売、道の駅・ホテル等へ委託販売
	味工房 ともやま	関係施設の給食調理・運搬 高齢者食事サービス弁当調理 観光客向け飲食店・調理業務	野外活動センター等との連携業務
	つばさ 作業場	ミニ畳、手編みマットの作成・販売 EM関連商品作り・販売、清掃作業 リサイクル作業（資源回収選別）	自主製品販売、道の駅・ホテル等へ委託販売
障がい者 支援施設 えりはら  利用者 42名	本体施設	パン製造・販売 手芸、紙すき製品等の作成・販売 農園芸作業	メロンパン他、マグネット、ビーズコースター、ハガキ、カレンダー等
	ひかり 作業場	電器会社等受託作業（3社） ブルーの袋詰め作業、販売 手芸・自主製品作成・販売 リサイクル作業（資源回収選別）	ブルー販売、アクリルたわし製造、タンボール、アルミ缶回収

	あいあい 作業場	電器会社等受託作業（2社） 手芸・自主製品作成・販売	鍋敷き、組紐アクリル たわし、ビーズ製 品等
--	-------------	-------------------------------	------------------------------

### 〈3〉その他

#### ①障がい者支援施設はばたき

- ・三重県が実施している「障害者工賃倍増計画推進事業」の委託を受け、利用者への工賃倍増を目指し、観光客をターゲットにした新商品（みやげもの）の開発等に積極的に取り組んでおります。
- ・一般就労した利用者へのサポートも継続的に行っております。
- ・地域のイベント等の行事にも販売活動等で積極的に参加し、就学前児童、小学生、中学生の体験・交流の場も計画・実施しております。

職場体験学習・・・安乗中学校 8月5日～7日 1名

文岡中学校 9月17日～19日 2名

現場体験実習・・・玉城わかば特別支援学校 6月9日～6月27日

- ・地域の学生の体験・実習の受入等も行っております。

#### ②障がい者支援施設あいのその

- ・職場体験実習の受け入れ。大王中学校・・・4/23～25 1名  
志摩中学校・・・9/10～12 1名
- ・浜島にある三重県水産研究所と連携し、2年目を迎え、水産業からの作業受託と水産事業者との販売を継続しています。特に7月末より「ふくしの魚や」と名付け鮮魚販売（週2日）を実施してきました。
- ・販売については、地域の方々から自主製品の材料提供や委託販売への協力をいただいています。また、地域行事へ出店し、事業の啓発を行なっています。
- ・ボランティアの訪問が、各作業場において続けられています。
- ・外出等の行事を取り入れ、さまざまな体験や生活訓練を実施しました。
- ・つばさ作業場は平成26年4月より社協志摩支所のある保健センター1階へ移転し事業を展開しています。

#### ③障がい者支援施設えりはら

- ・3作業所共通でレクリエーション大会、日帰り旅行、健康講演会、避難訓練、生活訓練など文化的、社会的な活動・体験を実施しました。
- ・地域の大学生（介護等体験）3名の実習受け入れを行いました。
- ・玉城わかば特別支援学校より3年生（1名）の体験実習（前期）、度会特別支援学校の受け入れを行いました。
- ・地域の小学校（5月27日 磯部小学校4年生50名）との交流を通じ障がい学習への協力と啓発活動を行いました。また、地域のサロン等での販売を通して事業の啓発活動にも取り組みました。
- ・磯部地区民生委員児童委員協議会、大阪市事業所等の視察を受け入れました。

### 3. ふくし移送サービス事業〔福祉有償運送事業〕

#### （1）公的介護サービスにともなう移送サービス事業（独自事業）

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者や障がい者に対して、福祉車両を用いて通院など（介護保険、障がい自立支援法に基づく通院介助）を支援しました。

(2) 外出支援サービス事業 [志摩市より受託]

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者等に対して、福祉車両を用いて定期的な通院など（市の要綱に基づく外出）を支援しました。

(3) ふくし移送サービス事業（独自事業）

公共交通機関、介護保険、その他公的福祉サービスを利用できない介護・介助が必要な方に対して、福祉車両を用いて買い物や通院などの外出を支援しました。

【ふくし移送サービス事業の利用状況】

	(1)介護一体型	(2)外出支援	(3)その他一般型	合計
延べ利用回数	1,018回	338回	577回	1,933回
[前年比]	-104回	+65回	-397回	-436回

【年度別延べ利用回数推移】

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
介護一体型	807回	872回	1,172回	1,122回	1,018回
外出支援	354回	350回	280回	273回	338回
その他一般型	3,287回	2,900回	2,036回	974回	577回
合計	4,448回	4,122回	3,488回	2,369回	1,933回

4. 事業評価と今後の課題 [在宅福祉サービス事業]

介護サービス事業は、特養や高齢者住宅等の入所施設の増加により、入所やショートステイを利用し易い環境になってきており、本会の在宅サービスを利用している利用者の中でも介護度の高い利用者が施設へ移行する人が増えてきています。利用回数や報酬単価の高いサービスを利用している介護度の高い利用者が施設へ移行したことにより、収益性や利用者数に大きな影響を受けました。

平成27年度は、介護報酬の改定もあり、ますます厳しいものが予想されます。この厳しい状況を克服するため早急に事業の効率化や経費削減の徹底はもとより、経営環境をめぐる情報を的確に把握・分析し、通所介護事業所の祝日営業の実現化など、事業展開を考えていくための経営体制強化が急務であると考えます。

障がい福祉サービス事業は、平成26年度より「障害程度区分」から「障害支援区分」へサービス等利用計画の策定が義務化されるなど大きく法改正が行われました。その中で、本会の就労継続支援B型事業所は、「障害者雇用における法定雇用率は長年未達成」と言われ続けられてはいるものの、年に数人の利用者を一般就労に送り出してきました。しかし最近では、障がい者にとって一段と厳しい状況下であり、また事業所を利用される方が増え、滞留化が進み事業所の定員に空きがなく待機していただくこともあります。これは、B型事業所だけでなく、生活介護事業所、放課後等デイサービス事業所でも同じ状況になっています。今後は、このような課題解決に向け、例えば介護サービスの利用が可能な利用者には、本会の介護サービス事業所と連携し、介護サービスへの移行を図ったり、また新たな活動拠点の設置の必要性もあると考えています。

在宅福祉サービス事業である介護サービス事業、障がい福祉事業は、共に社協の財政基盤を支える大きな柱であり、各事業の採算性が社協全体の経営と直結している現状があるため、社協の財政安定化に向けさらなる事業展開を地域福祉事業等と連携しながら進めていきたいと考えています。